



【組み合わせたシステム】

・スピーカーシステム：PIEGA「Coax 411」(¥1,870,000/ペア/ブラック)・プリメインアンプ：HEGEL「H400」(¥1,100,000)・CDプレーヤー：CREEK「4040 CD」(¥180,000)・アナログプレーヤー：REGA「Planar8」(¥385,000/針なし)・MCカートリッジPhasemation「PP-200」(¥139,700)

【取り扱い】

- ・PIEGA：(有)フューレンコーディネート
- ・HEGEL：(株)エレクトリ
- ・CREEK：ハイ・ファイ・ジャパン(株)
- ・REGA：完美電気(株)
- ・Phasemation：協同電子エンジニアリング(株)

井上千岳がセレクト
コンパクト・ハイエンド・システム最新の技術が到達した
コンパクトで最高峰の音

小さくまとめたシステムも
S/Nの高い再現性が魅力



Text by
井上千岳 Chitake Inoue

Coax 411はハイエンド・ブックシェルフの典型で、同軸リボンなので3ウェイにもできる。コンパクトなハイエンドというなら、選択肢の筆頭に挙がる製品である。H400はコンパクトとは言い難いが、DAC内蔵でQobuz対応というところがミソ。シンプル化できるので、システム全体は小さく収まるのである。

またアナログプレーヤーはまさにコンパクト・ハイエンドの好例で、重量級にこだわる必要はないということがよく分かる。なおフオノEQはアキュフェーズのC157だが、ヘーゲルのV110も当然選択肢に入る。コンパクトでS/Nの高い再現性が魅力である。

鋭く研ぎ澄まされた
精妙で万全な鳴りっぷり

この音は現代の最先端と言ってよく、アンプもスピーカーも最新の技術を投入した最高峰レベルのものである。出てくるのは鋭く研ぎ澄まされた精妙極まりない音で、それはストーリーミングでもCDでも変わることはない。情報量という点ではネットワークに軍配が上がるが、CDは安定した再現性に説得力がある。

バロックは鮮度の高さが聴きもので、弦楽器の細かな表情がこれまでにないほど精密に描かれている。ことに低音楽器がリアルだ。同じものをCDで聴くと、周囲の静寂感が高まり楽器それぞれの存在感がより明確になる。

またピアノもQobuzだと表面のきめが細かくなって響きが生々しさを増す。CDでは密度が高く芯があって骨格が豊かだ。

オーケストラも同じで、空間の深さや濃密な空気感はQobuzの真骨頂。CDになると静かさが増し影の濃い鳴り方で、CDとしてぎりぎりの再現性と言える。

レコードは綺麗な出方で、ノイズがまったたく気にならない。ピアノは粒立ちが非常に細かくデリカシーに富み、オーケストラはいつそう立体感が豊かで生々しい。万全と言ってもいい鳴り方である。

なつかしき未来へ

Audi

50TH ANNIVERSARY

Accessory

2026 SPRING **200**

ありがたそう

200

号記念

特別付録

① ベルリン・フィル・レコーディングス CDサンプラー

② 電子版で読める“本誌創刊号”



WEBでも楽しめます!